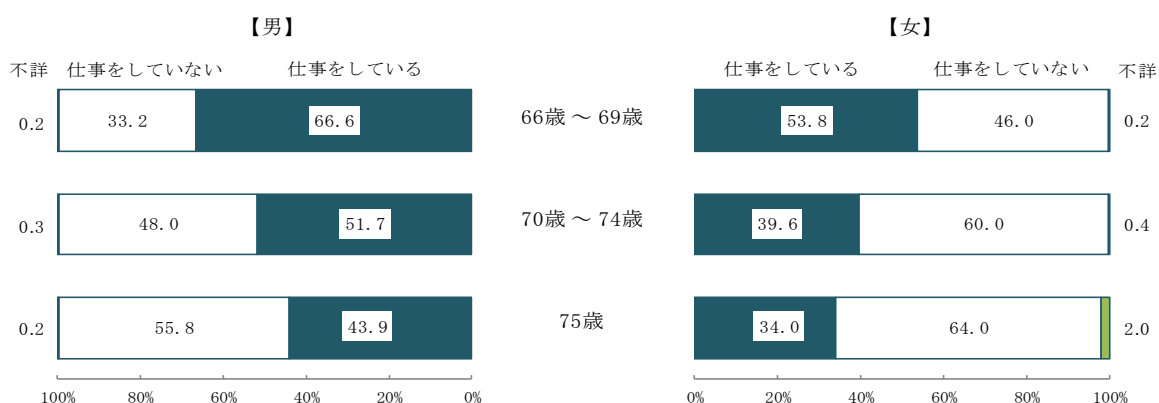


(2) 第1回調査時に「65歳以降仕事をしたい」と答えた者の現在の就業状況

第1回調査時に「65歳以降仕事をしたい」と答えた者で、第17回に「仕事をしている」のは、男の「66～69歳」で6割以上、「70～74歳」で5割以上、「75歳」で4割以上、女の「66～69歳」で5割以上、「70～74歳」で約4割、「75歳」で3割以上

第1回調査時(50～59歳)に「65歳以降仕事をしたい」と答えた者について、性・年齢階級別に第17回で「仕事をしている」者の割合をみると、男の「66～69歳」で66.6%、「70～74歳」で51.7%、「75歳」で43.9%、女の「66～69歳」で53.8%、「70～74歳」で39.6%、「75歳」で34.0%となっており、いずれも女より男の方が高くなっている(図4)。

図4 性、年齢階級別にみた第1回調査時に「65歳以降仕事をしたい」と答えた者の第17回の仕事の有無



注:第1回調査時に「65歳以降仕事をしたい」と答えた者の性・年齢階級ごとの総数を100としたときの割合である。

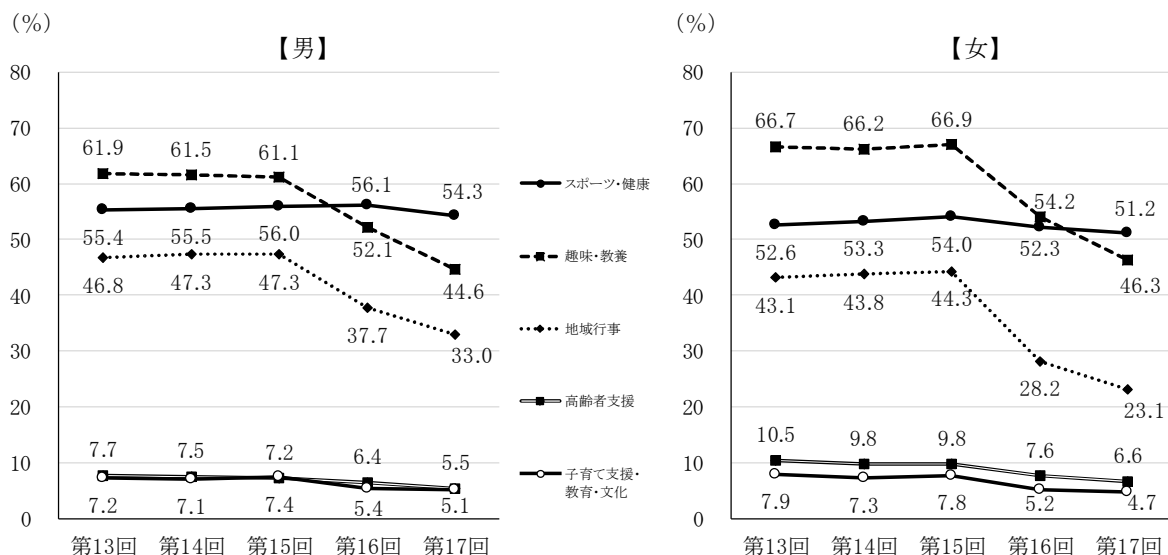
4 社会参加活動の状況

男女とも、社会参加活動の状況が、「趣味・教養」、「地域行事」などで減少、「スポーツ・健康」はほぼ横ばい

この5年間の社会参加活動別の状況をみると、男女とも「スポーツ・健康」、「趣味・教養」、「地域行事」が高くなっており、「高齢者支援」、「子育て支援・教育・文化」は低くなっている。

社会参加活動のうち「趣味・教養」、「地域行事」などは減少し、「スポーツ・健康」はほぼ横ばいの状況である。(図5)

図5 性別にみたこの5年間の社会参加活動の状況



注:第17回の性別ごとの総数を100としたときの割合である。